

■第1回 まちづくりサロン ■

開催日時:2021年7月3日(土)10時~11時半

●A地区のようす

現在 13 の町内会で構成。体制を新しく変えた。区長 1 人副区長 2 人体制。防災は人と人の繋がりが基本。ここを進めるため奮闘中。町内加入率 60%。ここ 1 年で 10 世帯が退会。

自分は現役引退後地域防災に取り組みたいと思っていたが、実際には住民はとても忙しいことが分かった。区長が集中して防災活動を行うのは無理。そこで、区長就任後 1 年目→町内会単位で活動。2 年目→町内会単位では範囲が広すぎるため、再編が必要と感じた。町内会はそのまま、「たすけあいグループ」と称した区分けを計画中。範囲はゴミ出しの区域がベストと感じている。

町内会加入の若い住民の声を聞くと、まず助け合いの関係づくりには、住民同士が知り合え、仲良くなるのが大切。そのためにお祭りを開催したいとのこと。区長たちも協力して計画中。また若い世帯への情報発信が必要と、HP やチラシの配布などを行っている。区費が何に使われているか見える化している。防災の面では、HP では消火栓の場所、避難経路などを発信している。

とにかく役員の仕事が重荷にならないよう区費の集金は年二回、他には月一の会議、回覧板を回す程度の作業量とする。

●B地区の様子

2300 世帯の地区。地区の防災は全く進んでおらず、何から手を付けたらよいか。区長は毎年変わり、自主防災会長を兼任。しかし兼任は現実には難しく、自主防災会長は別で任命すべき。

●防災活動中の市民①

神戸の震災を経験。あま市に戻って 20 年、とにかく愛知は防災に関心が無いことを痛感。ある大学教授は、あま市は震災がおきたら 80%死ぬと断言された。もう少し防災に興味を持ってもらいたい。自分は自ら防災が必要と家も建て直した。また、災害が無いときから絆づくりにと老人会などで活動中。

●防災活動中の市民②

A・B 地区の活動に質問。

- ① 実際皆さんの区ではどのような自主防災をやっていますか？
A 地区:「火災を出さない」「地域で火を消すチカラ」に絞って訓練等行う。住民アンケートを行い防災計画を作った。秋には町内会長を対象に各避難所見学を行った。
B 地区:9 月にあま市安心安全課出前講座でハザードマップの学習会を予定。
- ② 震災時非難と、風水時非難、どのように区分けしていますか？
A 地区:まだ取り組んでいない。現在は消火栓のホースの径が合わないため、順次取り換え作業中。
B 地区:まだまだ防災には何も取り組めていない。
9 月にあま市安心安全課出前講座でハザードマップの学習会からスタート。

第1回テーマ 「まちの防災・防犯」

参加者:A 地区(区長・副区長 計 3 名)
B 地区(区長・農業区長 計 2 名)
防災活動団体所属 2 名
生涯学習課 1 名

今回は、地域の区長さんたちにもご参加いただきました。現在の地域の防災活動の状況から見えてくる問題や課題と共に、新しいルール作りの様子も聞くことができました。

防災活動を推進する市民からの質疑応答では、現状の区長業務が多いことから、自主防災活動への取り組みが思うように進まない感じが感じ取れました。今後は、地域防災の分野では、専門性を持ち合わせる地域の市民力を活かせると、区長の負担を軽減させながら、地域防災力を強化できると感じました。次回のテーマは「子育てについて」です。皆様お気軽にご参加ください。お待ちしております。